

感情を知る②



シリーズ～神の知恵～

2019/4/28

先週までのおさらい

- ❖ 心は環境や行いに影響を受ける
 - ❖ 社会・人間関係・生活習慣を点検する
- ❖ 心は弱いものである
 - ❖ 簡単に「神の代用品」を中心に据えてしまう
 - ❖ 誘惑は避けられないが打ち勝つ策はある
- ❖ 心は複雑なものである
 - ❖ 他の人の心に寄り添うべきだが、簡単に分かっ
た気になってはならない
 - ❖ 心配と希望、喜びと悲しみなど、相反する感
情が同居し、変化し続ける

罪意識 4/20

神に逆らう者は追う者もないのに逃げる。神に従う人は若獅子のように自信がある。(28:1)

❖不安の背景には罪意識がある

❖特定の過ちというより、自分の内の「何か間違った所」があるので、という感覚

❖マクベス夫人(シェークスピア)が無意識に手を洗い続けたような「罪意識の奇妙な執拗さ」

❖恵みと慈しみが迫ってくる

❖意識が神に向かっていれば、罪は赦されているので、むしろ「恵みと慈しみはいつもわたしを追う」(詩編23:6)と感じができる

神の秤(はかり) 4/21

人間の道は自分の目に正しく見える。主は心の中を測られる。(21:2)

☞「自己判断」が重んじられる世の中

☞「何が自分にとって正しいか間違っているかを、自分で決められると思っています」TK
☞良かれと思っていても、「実はただ自分の考えを押し付けているだけ」かもしれない

☞正義・真偽・善惡の秤は神の手にある

☞「神の御言葉にあなたの本能や動機を探つていただき、学びと祈りによって、変えていただきましょう」TK

沈み込んだ靈 4/22

人の靈は病にも耐える力があるが／沈み込んだ靈を誰が支えることができよう。(18:14)

『体を支えているのは心である

『心が健康なら体が壊れても耐えることができる

『心が幸福を決定する

『「私たちの幸福は、美、健康、富、社会的地位などの外的環境に基づくと教えられているけれども、この箴言は、『それは違う。あなたの幸福はあなたの外的環境には何の関係もない。幸福は、あなたが外的環境を内側の力でいかに取り扱うか、どう処理するか、どう対応するか、どう見るかで決まる』と言っている」TK

幸いは選択 4/23

聰明な心は知識を求め／愚か者の口は無知を友とする。(15:14)

❖聖書で言う「心」とはむしろ「意志」

❖「心は人生に対する姿勢や態度で成り立つ」

❖「幸いな心というのは、ここでは、賢明な確信と責任感に満ちた『聰明な心』のこと」TK

❖心の向きが正しければ幸いを得る

❖「結局幸いとは、選択によるものなのだというのです」TK

❖神を賛美し、礼拝することによって「神の恵みと約束に基づく真理と臨在が心に満ちる」

自制心・その大切さ 4/24

忍耐は力の強さにまさる。自制の力は町を占領するにまさる。(16:32)

❖自分を制する人は世界を制する

❖「自分を征服することは、他人や国民全体を征服するより難しい」TK

❖自己抑制を不健康とする世界

❖「今日では、自己抑制はしばしば不健康なこととみなされます。情熱や怒りに従い、「天然」であることが、現代の創造的で洗練された人々の間では高く評価されます」TK

自制心・その問題 4/25

侵略されて城壁の滅びた町。自分の靈を制しえない人。(25:28)

- ❖ 古代の町は城壁によって24時間守られた
 - ❖ 「自己抑制できない人は、ちょうど無防備な町と同じです」TK
- ❖ 自分の城壁の弱点を探ろう
 - ❖ 欲求に負けてしまう
 - ❖ 感情に支配される(衝動的)
 - ❖ 舌(言葉)を制御できない
 - ❖ よく考えずに答えを出してしまう
 - ❖ 一箇所でも弱点があると全体が壊れる!

自制心・その解決法 4/26

主の御名は力の塔。神に従う人はそこに走り寄り、高く上げられる。(18:10)

☞城壁の要は「(砦の)塔」

☞城壁は防御だが、塔は監視と攻撃の場所

☞何を(誰を)塔とするか

☞愚か者は自分の所有物や能力を塔だと考える

☞「知恵ある人は「**主の御名**」に逃げ込みます。

…神の御名に逃げ込むとは、意識して神とはどんな方なのかを復唱し、神がどのような方かを自分に話すことです。」TK

☞嵐のガリラヤ湖でパニックに陥った弟子たち



主なる神よ、私の心の城壁を強固なものとして下さい。そうすれば、外的環境に幸福感が左右されることなく、自らの感情に支配されることもありません。また、常にあなたを砦の塔として頼る者として下さい